平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名　株式会社ツカモトコーポレーション　　上場取引所　東
コード番号　8025　URL　http://www.tsukamoto.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 阿久津　和行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役本部担当　(氏名) 小林　史郎　TEL 03-3279-1330

四半期報告書提出予定日　平成23年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,904	6.7	930	△2.7	946	1.1	869	138.7
23年3月期第2四半期	15,844	△8.6	956	187.5	936	194.6	364	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　946百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△18百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.90	―
23年3月期第2四半期	9.17	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	33,352	11,431	19.9
23年3月期	31,954	10,492	18.1

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　6,626百万円　23年3月期　5,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	0.00	0.00
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△0.0	1,300	△3.5	1,300	0.8	1,100	115.8	27.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	40,697,476 株	23年3月期	40,697,476 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,003,913 株	23年3月期	999,752 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	39,696,107 株	23年3月期2Q	39,705,352 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（3）連結業績予想に関する定性的情報…… 3

２．サマリー情報（その他）に関する事項…… 4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4

３．四半期連結財務諸表…… 5
（1）四半期連結貸借対照表…… 5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書…… 7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書…… 9
（4）継続企業の前提に関する注記……11
（5）セグメント情報等……11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や急激な円高の進行により、また、欧米の財政不安による世界的な景気減速懸念が強まるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下にあって当社グループは、創業２００周年を迎え、経営理念を見直すと共に、新グループ３ヵ年計画を発表し、グループの全体最適追求の経営を実践し、長期に亘る持続的な成長を可能とするグループの経営基盤の確立を目指して今年度をスタートさせました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は１６９億４百万円(前年同期比６．７％増)、経常利益は９億４千６百万円（前年同期比１．１％増)、四半期純利益は固定資産の売却により４億３千９百万円の特別利益を計上したこと等により、８億６千９百万円（前年同期比１３８．７％増）となりました。

セグメントの状況は以下の通りです。

〔和装事業〕

ツカモト株式会社及び市田株式会社における和装事業につきましては、東日本大震災の影響により、催事の中止、延期等があり売上高は減少しました。中止、延期等の催事の再構築と経費削減策を実施し、収益改善を図ってまいります。

以上の結果、当事業分野の売上高は４３億９千７百万円（前年同期比１４．４％減)、セグメント損失（営業損失）は１億６千８百万円（前年同期はセグメント損失４千万円）となりました。

〔洋装事業〕

ツカモトアパレル株式会社におけるメンズ事業につきましては、受注額が増加し納品も順調に推移した結果、増収増益となりました。

ツカモトユーエス株式会社におけるユニフォーム及びＯＥＭ・婦人テキスタイル事業につきましては、ユニフォーム事業は大口受注先への納品により、大幅な増収増益となりました。ＯＥＭ・婦人テキスタイル事業は、売上高は前年を下回りましたが、経費削減が寄与し損益は改善しております。ユニフォーム事業及びＯＥＭ・婦人テキスタイル事業全体としましては大幅な増収増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は５０億円（前年同期比２７．９％増)、セグメント利益（営業利益）は、３億１千８百万円（前年同期はセグメント利益１億５千５百万円）となりました。

〔ホームファニシング事業〕

市田株式会社におけるホームファニシング事業につきましては、店頭販売が堅調に推移し、また、アウトレット直営店の出店もあり売上高は前年を上回りましたが、利益率の減少により減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は１５億３千２百万円（前年同期比２２．９％増)、セグメント利益（営業利益）は５千万円（前年同期比１７．４％減）となりました。

〔陳列用器具の賃貸業〕

株式会社アディスミューズにおける陳列用器具の賃貸業につきましては、東日本大震災の影響があり、売上高は前年を下回り、営業利益も減少しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は２３億８千６百万円（前年同期比２．２％減)、セグメント利益（営業利益）は３億８百万円（前年同期比１６．２％減)となりました。

〔建物の賃貸業〕

株式会社ツカモトコーポレーション及び株式会社アディスミューズにおける建物の賃貸業につきましては、テナントの移動の影響により売上高は前年を下回りましたが、営業費用の減少により増益となりました。

以上の結果、売上高は６億３千８百万円（前年同期比６．２％減)、セグメント利益（営業利益）は、３億５千４百万円（前年同期比３．７％増)となりました。

〔健康・生活事業〕

ツカモトエイム株式会社における健康・生活事業につきましては、主力商品、新規商品の販売が順調に推移した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は３０億１千１百万円（前年同期比２０．８％増)、セグメント利益（営業利益）は１億３千５百万円（前年同期比６４．７％増）となりました。

〔その他事業〕

倉庫業は主力得意先との取引終了の影響により、減収減益となりました。研修センター運営事業は研修センターの稼働率が改善し、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は３億５千２百万円（前年同期比１．４％減)、セグメント利益（営業利益）は１千２百万円（前年同期比５０．０％減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が１２億９千万円増加、受取手形及び売掛金が２億８千９百万円増加したこと等により流動資産が１５億３千３百万円の増加となりました。また、固定資産が１億３千６百万円減少したこと等により、資産合計は１３億９千７百万円増加の３３３億５千２百万円となりました。

負債の部では支払手形及び買掛金の７億４千２百万円の増加、未払法人税等の１億５千２百万円の増加、短期借入金の１億１千２百万円の増加等により流動負債が１１億６千１百万円の増加となりました。また、長期借入金の４億円の減少、役員退職慰労引当金の１億８千４百万円の減少等により固定負債が７億２百万円減少し、負債合計は前連結会計年度末に比べ４億５千９百万円増加し、２１９億２千１百万円となりました。

純資産は株主資本合計が８億６千９百万円増加し、少数株主持分が１億３百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ９億３千８百万円増加し、１１４億３千１百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は５７億９千１百万円で前年同期末と比べ９億４千万円の増加となりました。また、前連結会計年度末と比べ１２億９千万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は１０億６百万円（前年同期は７億６千１百万円の増加）となり、これは主に税金等調整前四半期純利益等によるものであります。この結果、前年同期と比べて２億４千４百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は５億９千８百万円（前年同期は２億５千３百万円の増加）となり、これは主に固定資産の売却による収入等によるものであります。この結果、前年同期と比べて３億４千５百万円の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は３億１千３百万円（前年同期は４億７千７百万円の減少）となり、これは主に借入金の返済による支出が借入れによる収入を上回ったこと等によるものであります。この結果、前年同期と比べて１億６千４百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、東日本大震災の影響や急激な円高が続き、また、世界経済の不安定な状況により、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような状況下で当社グループは、和装事業の再構築と、既存事業における収益の安定化と成長戦略を進め、着実な収益体制の確立と財務体質の改善を図ってまいります。

連結業績予想としましては、第２四半期までの業績の状況を踏まえ、和装事業が東日本大震災の影響を受け厳しい状況が続いておりますが、第３四半期以降は改善の方向に向かい、また、他の各事業は引き続き堅調に推移できるものと想定し、通期見通しを修正致しました。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	31,000	1,000	1,000	450	11.34
今回発表予想（B）	32,000	1,300	1,300	1,100	27.71
増減額（B－A）	1,000	300	300	650	―
増減率（%）	3.2	30.0	30.0	144.4	―
（ご参考）前期実績（平成23年3月期）	32,003	1,347	1,289	509	12.84

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,500	5,791
受取手形及び売掛金	5,567	5,857
有価証券	101	101
たな卸資産	2,857	2,967
繰延税金資産	20	20
その他	589	428
貸倒引当金	△64	△60
流動資産合計	13,573	15,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,121	4,018
土地	10,265	10,206
その他（純額）	221	324
有形固定資産合計	14,607	14,549
無形固定資産		
その他	47	73
無形固定資産合計	47	73
投資その他の資産		
投資有価証券	2,989	2,961
繰延税金資産	124	137
その他	899	790
貸倒引当金	△287	△267
投資その他の資産合計	3,726	3,622
固定資産合計	18,381	18,245
資産合計	31,954	33,352
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,738	6,480
短期借入金	8,280	8,392
未払消費税等	50	75
未払法人税等	250	403
繰延税金負債	11	8
返品調整引当金	77	69
事業構造改善引当金	100	－
役員賞与引当金	1	－
その他	632	875
流動負債合計	15,144	16,305

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
固定負債		
長期借入金	2,950	2,550
繰延税金負債	1,839	1,839
負ののれん	8	－
再評価に係る繰延税金負債	16	16
退職給付引当金	460	438
役員退職慰労引当金	286	101
資産除去債務	27	27
その他	729	642
固定負債合計	6,317	5,615
負債合計	21,462	21,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829	2,829
資本剰余金	2,415	2,415
利益剰余金	873	1,743
自己株式	△122	△122
株主資本合計	5,997	6,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△192	△198
繰延ヘッジ損益	3	△23
土地再評価差額金	4	4
為替換算調整勘定	△21	△22
その他の包括利益累計額合計	△205	△239
少数株主持分	4,701	4,804
純資産合計	10,492	11,431
負債純資産合計	31,954	33,352

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	15,844	16,904
売上原価	10,734	11,724
売上総利益	5,110	5,180
返品調整引当金繰入額	72	69
返品調整引当金戻入額	100	77
繰延リース利益戻入額	―	0
差引売上総利益	5,137	5,188
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	209	212
旅費及び交通費	296	290
荷造運搬費	357	387
貸倒引当金繰入額	32	△8
給料	1,696	1,643
賞与	185	198
退職給付引当金繰入額	19	99
役員退職慰労引当金繰入額	7	5
福利厚生費	360	360
業務委託費	196	244
減価償却費	58	59
賃借料	104	92
その他	656	671
販売費及び一般管理費合計	4,181	4,257
営業利益	956	930
営業外収益		
受取利息	28	28
受取配当金	30	31
保険配当金	9	26
受取保険金	0	0
負ののれん償却額	8	8
為替差益	4	2
その他	27	37
営業外収益合計	109	135
営業外費用		
支払利息	111	103
手形売却損	9	7
その他	7	7
営業外費用合計	128	118
経常利益	936	946

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
特別利益		
固定資産売却益	－	439
事業構造改善引当金戻入額	－	28
特別利益合計	－	468
特別損失		
固定資産売却損	21	－
投資有価証券評価損	14	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	－
訴訟和解金	－	13
特別損失合計	63	13
税金等調整前四半期純利益	873	1,401
法人税、住民税及び事業税	388	412
法人税等合計	388	412
少数株主損益調整前四半期純利益	484	989
少数株主利益	120	120
四半期純利益	364	869
少数株主利益	120	120
少数株主損益調整前四半期純利益	484	989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△472	△15
繰延ヘッジ損益	△27	△27
為替換算調整勘定	△3	△0
その他の包括利益合計	△503	△42
四半期包括利益	△18	946
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123	835
少数株主に係る四半期包括利益	104	111

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	873	1,401
減価償却費	124	153
負ののれん償却額	△8	△8
有形及び無形固定資産除却損	0	10
投資有価証券減損損失	14	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	32	△23
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△84	△22
その他の引当金の増減額（△は減少）	△34	△294
受取利息及び受取配当金	△58	△59
支払利息	111	103
有価証券売却損益（△は益）	△0	－
為替差損益（△は益）	△4	△2
固定資産売却損益（△は益）	21	△439
売上債権の増減額（△は増加）	205	△264
たな卸資産の増減額（△は増加）	△20	△110
仕入債務の増減額（△は減少）	△30	838
未払消費税等の増減額（△は減少）	△35	61
その他	△145	△64
小計	959	1,279
利息及び配当金の受取額	69	65
利息の支払額	△111	△104
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△155	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	761	1,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	380	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△311	△72
有形及び無形固定資産の売却による収入	180	583
投資有価証券の取得による支出	△0	△2
投資有価証券の売却による収入	0	2
貸付けによる支出	△7	△12
貸付金の回収による収入	3	6
その他の支出	△0	△16
その他の収入	9	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	253	598

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,535	1,284
短期借入金の返済による支出	△1,542	△1,722
長期借入れによる収入	－	300
長期借入金の返済による支出	△450	△150
リース債務の返済による支出	△10	△16
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	－
配当金の支払額	△0	△0
少数株主への配当金の支払額	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477	△313
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	533	1,290
現金及び現金同等物の期首残高	4,316	4,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,850	5,791

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合 計
	和装事業	洋装事業	ﾎｰﾑﾌｧﾆｼﾝｸﾞ事 業	陳列用器具の賃 貸 業	建 物 の賃 貸 業	健康・生活事 業	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	5,136	3,910	1,235	2,407	442	2,489	15,620	223	15,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	11	32	239	4	292	133	425
計	5,140	3,910	1,246	2,439	681	2,493	15,912	357	16,269
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△ 40	155	60	368	342	82	968	25	994

（注） 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、研修センター運営事業等を含んでおります。

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	968
「その他」の区分の利益	25
セグメント間取引消去	5
全社費用（注）	△ 44
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	956

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第2四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　　至　平成23年9月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合　計
	和装事業	洋装事業	ﾎｰﾑﾌｧﾆｼﾝｸﾞ事業	陳列用器具の賃貸業	建物の賃貸業	健康・生活事業	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	4,395	4,999	1,521	2,345	406	3,006	16,674	230	16,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	10	41	232	4	292	121	414
計	4,397	5,000	1,532	2,386	638	3,011	16,967	352	17,319
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△ 168	318	50	308	354	135	1,000	12	1,013

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、研修センター運営事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,000
「その他」の区分の利益	12
セグメント間取引消去	4
全社費用（注）	△ 87
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	930

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。